

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育人事費

事業名【新】学校保健推進体制支援事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会義務教育課 小中学校係人事係 電話番号：058-272-1111(内8584)

E-mail：c17785@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,420 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	6,420	2,130	0	0	0	0	28	0	4,262
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

現代的な健康課題は、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、アレルギー疾患の増加、性に関する指導に加え、身体不調の要因に虐待、いじめ、貧困が関連するなど、多様化、複雑化が進んでいる。

一方で、本県の養護教諭の年齢層は、20歳代の若手が多い傾向にあり、若手養護教諭が一人で担っている学校も多くある。また、若手養護教諭が多いことから育児休業者も多く、代替の臨時的任用職員が業務を担っている学校もあり、若手の養護教諭の支援及び資質向上は急務である。

(2) 事業内容

若手養護教諭が勤務する学校に退職養護教諭等を会計年度任用職員非常講師として派遣・勤務を共にすることで、児童生徒の健康相談、地域関係機関との連携等について、支援の充実を図るとともに、若手養護教諭の資質・向上を図る。

・養護教諭が研修会・関係機関との会議へ参加するための後補充として勤務を行い、学校の体制強化を図る

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/3、県2/3

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	6,294	
旅費	126	
合計	6,420	

決定額の考え方

まずは、研修の充実や教育委員会事務局からの指導により改善を図ることとし、計上を見送ります。

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育振興基本計画
 - 施策Ⅰ 「豊かな人間性」の育成
 - 3 いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応の徹底
 - 施策Ⅲ 「健やかな体」の育成
 - 17 健康教育と食育の推進
 - 18 これまでの経験を踏まえた感染症への対応の推進
 - 施策Ⅳ 「学びの多様なニーズに応える環境」の充実
 - 26 優れた教職員の確保と資質・指導力の向上

(2) 国・他県の状況

- ・事業主体である県が、市町村教育委員会の要望等を踏まえて実施する。

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・若手養護教諭が多い市町村教育委員会に対して、県教育委員会が退職養護教諭を会計年度任用職員として任用する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 派遣先の養護教諭の時間外在校時間の月45時間超過者を0%にする（派遣期間中）。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①時間外在校時間が月45時間超過者の割合（派遣先の養護教諭）			50.0%	50.0%	50.0%	

○指標を設定することができない場合の理由

・本事業は資質向上を目的としており、事業の評価を数値で示すことがすぐわかないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p style="color: red;">令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 大規模校に一人配置の養護教諭の業務量は非常に多いが、新型コロナを契機とした求められる役割の変容・増大も相まって、学校規模に関係なく養護教諭の業務量が増加しており、更なる業務支援等を検討していく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 退職養護教諭等を派遣した学校の養護教諭の負担が軽減された業務支援の内容・や時間外勤務時間の縮減状況を把握し、効果的な派遣方法等を分析する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】